



岩村ふれあいセンター西横の用地買収の件が少し進展しました。

ふれあいセンター西側の公園化進む 防災広場などの活用案が浮上

前号でも記述通り、堀ノ内にあつた岩村保育所跡地の代替え案として、平成13年に交わした「覚書」に基づく公園化に向けての交渉です。

南国市財政課と大阪に在住の地権者と電話会談の結果、地権者の了承が得られ、購入に向けて一歩進みました。南国市としては、さらに西側の土地も合わせて購入し、「防災公園構想」が持ち上がっています。内容の管轄は危機管理課になり、防災広場として、防災公園・防災倉庫・物部川の洪水避難タワー建設などのいろいろな案を考えているところです。

また、土地購入担当の財政課によりますと今後、測量・予算案の作成など具体的な行動に移行していきたいとのお話でした。

(編集部)

今後、測量して予算化へ

お楽しみのでイクアウト店

当日は、「岩村ふれあい祭り」での大人気、「焼き鳥」を販売させていただきます。いつもの材料と焼き方にこだわり、たくさん準備してありますが、売り切れが出た場合はご容赦願います。残念ながらビールは販売できませんので、各家庭で楽しんでください。

もう一つは、これも「岩村ふれあい祭り」で大人気の赤飯、ちらし寿司です。今回はふれあいセンターでの仕込みは行いませんが、外部の美味しい赤飯、ちらし寿司を販売します。

そして今年初登場、「ピザ」です。ふれあいセンター隣の「西野製作所」の傑作「ピザオーブン」を使って焼き上げたピザを提供しようと思っております。小さく切り分けて販売してはいけないとの保健所の指導があり、焼いたそのままを提供しますが、大・小の2種類を準備します。これも数量には限りがありますので、売り切れの場合はご容赦願います。

なお、今回チムニーのパンは、お店の都合で販売できなくなりましたが、他のお店を模索中です。楽しみにしてください。

イルミネーション点灯式

最後にメインイベントです。午前中にふれあい協議会の委員さんたちが頑張つて設置してくれる「イルミネーション点灯式」です。毎年「岩村イルミネーション街道」(仮称)を賑わせているイルミネーションを、今年も新しく購入し増設して賑やかさを増す仕掛けを行います。



新型コロナウイルス対策として、検温、手指の消毒、バザー商品の消毒及び受渡時の接触回避等対策を十分行いますが、参加される方の事前検温、マスク着用等の対策へのご協力をお願いします。

(寄稿者・田所秀二
岩村ふれあい協議会会長)

公民館の移動学習 山北みかん狩り

日 時 12月5日(日) 10時30分~14時
集合 岩村ふれあいセンター 10時20分集合
会 費 1000円 (入園料・園内食べ放題・お弁当・お茶・保険付き)
小学生は900円



- ※ お持ち帰りは別途料金がかかります
- ※ ふれあいセンターから指定車で現地へ
- ※ 参加人数制限なし

楽しいひと時です
あなたも参加しませんか(*_*)

- ※ お申し込みは 公民館スタッフ
又は 田所秀二 090-8976-3619まで

岩村防災連合会へ 宝くじから助成金

この度、岩村防災連合会が「コミュニティ助成事業」による宝くじ助成金を受けて防災資機材の購入が内定しました。早速、岩村防災連合会4役会を開き、購入品目を申請しました。総額200万円というすごい金額ですので、岩村の防災に役立つ機材を選定しました。

- 購入予定資材
- イナバ物置 1棟
 - プロパンガス発電機 1台
 - ラップポン・トレッカー

- (トイレ一式)
- エアマット 3台
 - マジックベッド 10個
 - 集会用テント 3台
 - パーソナルテント 2台
 - 着替えテント 5台

なお、11月27日(土)午後3時から岩村防災連合会の避難訓練を実施します。防災無線放送の「岩村地区の皆さん。避難訓練を開始します。岩村ふれあいセンターへ避難してください。これは避難訓練です」の放送と同時に避難してください。

(編集部)

香南中卓球部が 岩村で練習か

岩村ふれあいセンターで香南中卓球部が練習する案があがっています。卓球部は香南中が手狭なため、練習場所を探しており、岩村ふれあいセンターに問い合わせがありました。早速、校長先生自らが見に来られ、

会場と時間の調整がつけば、早々に利用したいとの意向です。放課後の部活練習のため月・水の4時半ごろから2時間程度の利用希望です。

香南中の生徒さん10数名がふれあいセンターで練習となれば、活気あふれる場面が見られ、行き帰りの自転車の車列を見れば声をかけて(応援)あげてください。



昨年のイルミネーション祭の様子

新型コロナウイルスの感染拡大により、岩村地区の最大イベントと自負している「岩村ふれあい祭り」が今年も中止となり、岩村を元気にしたいイベントを

11月27日(土)

いわむら

発行
岩村公民館

49号

岩村を元気にするイベント

イルミネーション祭りを開催

何とか開催できないかと「岩村ふれあい協議会」メンバーが知恵を絞り、昨年開催した「イル

バザー・防災・昔遊び・テイクアウト・点灯式

ミネーション点灯祭」を更にボリュームアップした形で開催しようとして検討した結果、子どもを中心としたイルミネーション祭と称し楽しい催しを行うこととしました。その計画内容を事前にお知らせしますので、楽しみにしていただくと多くの方が参加していただくようお願いいたします。なお、開催日は11月27日(土) 15時からです。

よる津波については、これまでよく議論されてきましたが、この岩村地区では津波より家屋の倒壊、そして一番恐れられないのが「地震に伴う火災」です。

今回の子供たちがナイフを使う作業はありませんので、大人と一緒に見ながらやって出来上がったもので遊んでみましょう。女の子の定番、「おはじき」や「あやとり」で男女問わず楽しんでみても良いですね。なお、予定のゴメンジャーは、他のお祭りの関係で登場できなくなりましただので、ご容赦ください。(2面に続く)

子供と大人の防災教室
近い将来必ず来ると言われる「南海トラフ巨大地震」地震に
ふれあいバザー
「岩村ふれあい祭り」でも人気の「ふれあいバザー」。地域の家庭の貴重な秘蔵品を提供してもらい、その秘蔵品が他の家庭で利用され、環境にも優しい催しだと思っています。この機会に家庭の隠れた場所を探してみませんか。

世代交流 昔遊び

いる消火器の使い方を事前におくことが大切です。今回は、南国市消防本部から講師をお招きし火災について防災等のお話を聞くとともに、水消火器により火点を発見して消化する訓練を行います。

岩村の歴史 ヒストリア

第15回



生保3年(1647年)建立の棟札が残されている蔵福寺の地蔵堂。本村集落東方部にあります。



深淵城跡の碑、江戸時代の300年間この地に蔵福寺があった

蔵福寺はどこへ行ったのか

かつて蔵福寺島の語源となった蔵福寺がここにあったのは多くの住民の知るところであり、小字(ホノキ)にも、「寺屋敷」があります。現在の共同墓地のあたりです。

江戸時代は本村にあった
それが慶長年間に立田村移転となつています。徳川家康が江戸幕府を開いたのが慶長8年(1603年)ですから、このころではないかと予測されます。立田本村のこの地には遍照寺というお寺がありましたが、不思議なことに慶長年間に五台山

竹林寺の命によりなんと蔵福寺に改名しています。それから廃仏毀釈の明治4年まで300年間この地に存在しました。その後建物(本堂)が「立田小学校」として有効利用されました。遍照寺(蔵福寺)のあったこの地は13世紀の南北朝時代には、深淵城のあった土地(立田・本村)の管内地区はかつて西深淵村といわれていたで1336年南北朝の戦いで北朝方が深淵城・岩村城を焼き払ったと有名な「佐伯文書」に書き残されています。この深淵城跡の碑は南国市が現地に設置しています。

田村の蔵福寺は室町時代に創立

では、田村にある蔵福寺との関連はどうなるのか? 昔から地元で伝わる伝説として蔵福寺島↓本村↓田村へ寺院のご本尊の一部(仏像や掛け軸など)が物部川の洪水で流されて、その地に「蔵福寺」が建立されたと言われていました。がこの説はどうも間違いのようです。

田村の蔵福寺はなんと永正2年(1505年)に創立されてお

り、この事は南国市史上巻89頁(900頁目)に記載されています。長宗我部の時代(安土桃山時代)にはすでに存在していたこととなります。江戸時代には、前述の立田本村「蔵福寺」と田村の「蔵福寺」のふたつが存在したことになるのです。

結論として、蔵福寺島に

あった蔵福寺は、江戸時代に本村の遍照寺が蔵福寺に改名し、明治4年の廃物希釈まで存在し、廃寺となりました。一方、田村の蔵福寺は室町時代後期に創立され、一時期、無住職の時代もありましたが今日、令和の時代まで存続しているのです。(寄稿者・福船 和田真一)